



Small World RHYTHM

クオーツクロック取扱説明書

アフターサービスについて

- お買いあげいただきありがとうございます。
- お使いになる前に、この説明書をよくお読みください。
 - お読みになった後も必ず保存してください。

5MH601RH

ご使用になる前のご注意とお願い

この時計は屋内・屋外共に使用できますが、制御箱は必ず屋内に設置してください。

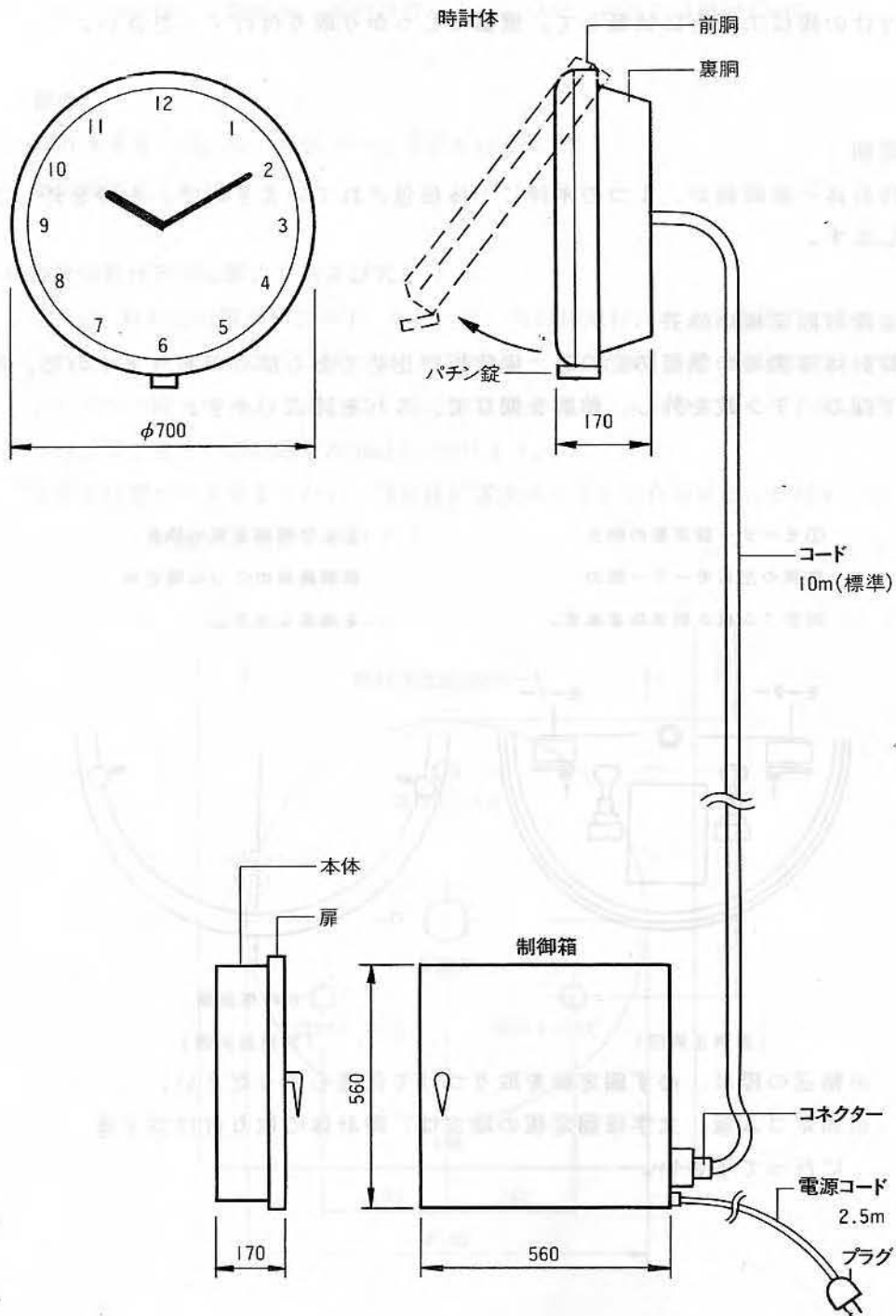
次のような場所では、使用しないでください。

- 1) 温度が -10°C 以下になる所
- 2) 温度が $+50^{\circ}\text{C}$ 以上になる所
- 3) 湿度が極端に高い所
- 4) 時計体裏面から風雨が直接当たる所
- 5) 振動の大きい所

前胴を開けて内部にむやみに触れたり、改造しないでください。

また、人形等の可動部には、無理な力を加えないでください。故障の原因になります。

各部の名称と寸法



大型からくり時計の設置方法

・取り付けの際は工務店に依頼して、壁面にしっかり取り付けてください。

1. 開梱

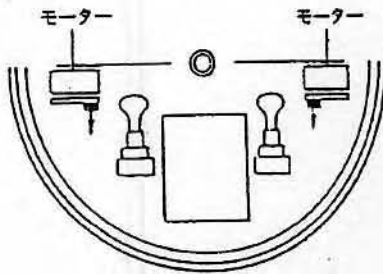
時計体と制御箱が、1つの木枠に一体梱包されていますので、木枠を外して取り出します。

2. 運搬用固定板の除去

時計体運搬時の損傷防止の為、固定板で止めてある部分がありますので、時計体下部のパチン錠を外し、前胴を開けて、これを除去します。

① モーター固定板の除去

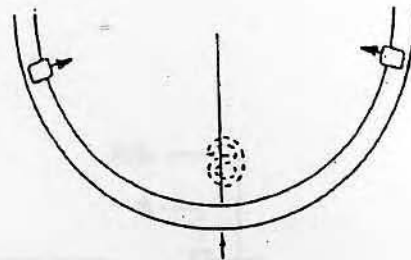
裏胴の左右モーター部の
固定ゴム板を引き抜きます。



(裏胴正面図)

② 文字板固定板の除去

前胴裏面の2つの固定板
を除去します。



6時側裏面

(前胴裏面図)

※輸送の際は、必ず固定板を取りつけて保護してください。

※固定ゴム板、文字板固定板の除去は、時計体の取り付け完了後
に行ってください。

3. 時計体および制御箱設置壁面の選定

鉄筋コンクリート面（モルタル不可）もしくは10cm角以上の木の柱等、十分な強度をもった壁面を選んでください。

なお、時計体から制御箱（屋内設置）までのコードの長さは標準10mです。

参考

時計体重量：約26kg（接続コード重量6kgを含む）

制御箱重量：約18kg

4. 時計体取付穴の位置出しおよび穴あけ

添付の「時計体位置決めシート」を使って、時計体取付穴および配線穴をあけます。

- ①時計体が傾かないように、時計体位置決めシートのY軸と床面を垂直に合わせます。
- ②天井等の障害物がある場合は、時計体位置決めシートを参考にして、障害物から時計体上部までの距離を200mm以上あけます。
- ③設置位置が決まりましたら、時計体位置決めシートに合わせて、取付ネジ穴（3ヶ所）と配線穴を正確にあけます。



取付ネジ穴径および深さ

コンクリート壁面 $\phi 14$ 深さ50mm

添付のM8アンカーボルトを挿入します。

木の柱 $\phi 5$ 深さ40mm

(添付の6×40タッピングネジ用下穴です。)

配線穴径 $\phi 60$ のコネクタが通りますので、 $\phi 70 \sim \phi 100$ の穴をあけてください。

5. 時計体の取り付け

①配線穴にコネクタを通し、裏胴正面より3本のアンカーボルトまたはタッピングネジで、確実に固定します。

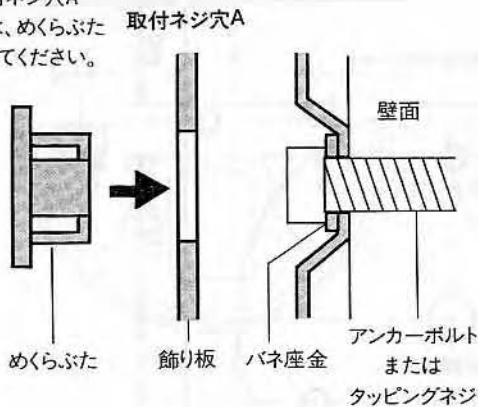
※ボルト部からの雨水浸入防止の為、付属の「バスボンド」をボルトに塗った後、固定してください。

②裏胴と前胴をパチン錠で固定します。

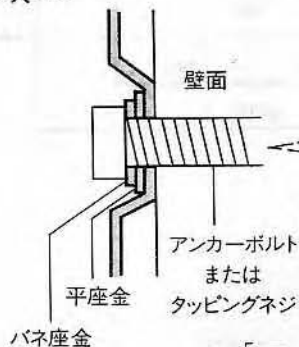
時計体取り付け時、前胴側に付いている時計ムーブに触れないで下さい。

取付ネジ穴A

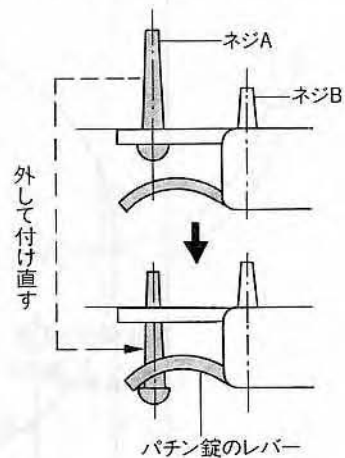
には、めくらぶたをしてください。



取付ネジ穴B・C

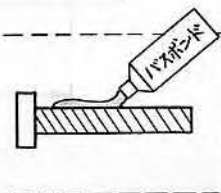


※パチン錠のいたずら防止策として、パチン錠のレバーを前胴にネジ固定することができます。この場合は、パチン錠を固定しているネジAを外し、レバーの穴を通してレバーと共に締めてください。



外して付け直す

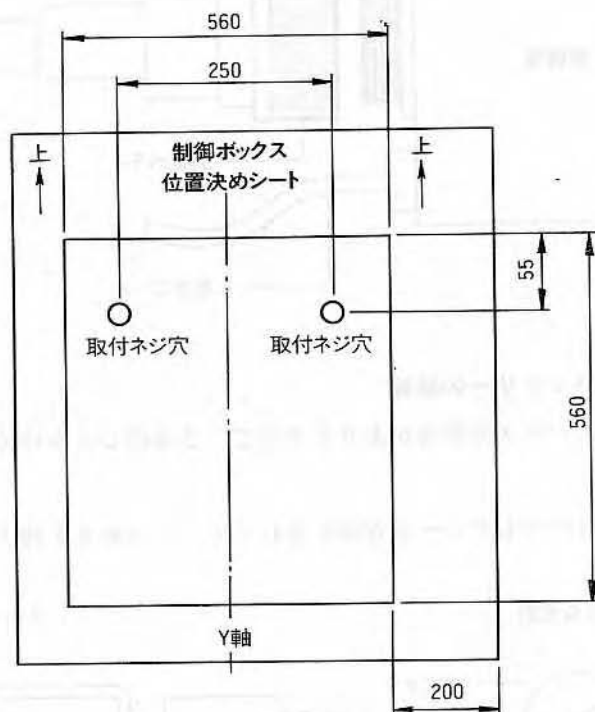
パチン錠のレバー



6. 制御箱取付穴の位置出しおよび穴あけ

添付の「制御ボックス位置決めシート」を使って、制御箱取付穴をあけます。

- ①制御箱が傾かないように、制御ボックス位置決めシートのY軸と床面を垂直に合わせます。
- ②制御箱右側に壁等の障害物がある場合は、制御ボックス位置決めシートを参考にして、障害物から制御箱右端までの距離を200mm以上あけます。
また、扉の開閉に支障のないよう、制御箱前面のスペースも充分とってください。
- ③設置位置が決まりましたら、制御ボックス位置決めシートに合わせて、取付ネジ穴（2カ所）を正確にあけます。



※取付ネジ穴径および深さは、前項同様です。

7. 制御箱の取り付け

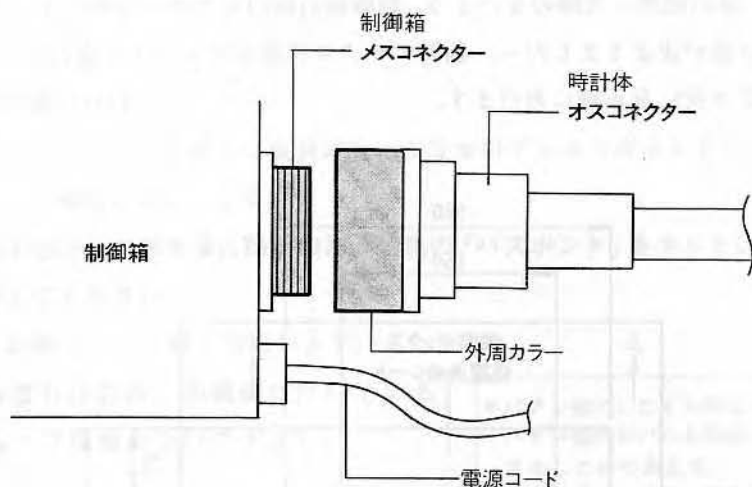
扉を開けて、本体を2本のアンカーボルトまたはタッピングネジで、確実に固定します。バネ座金、平座金は必ず使用してください。

8. 配線

①コネクターの結線

時計体のオスコネクターを制御箱右下のメスコネクターに方向を合わせて差し込み、外周カラーを右方向に回して、ねじ込みます。

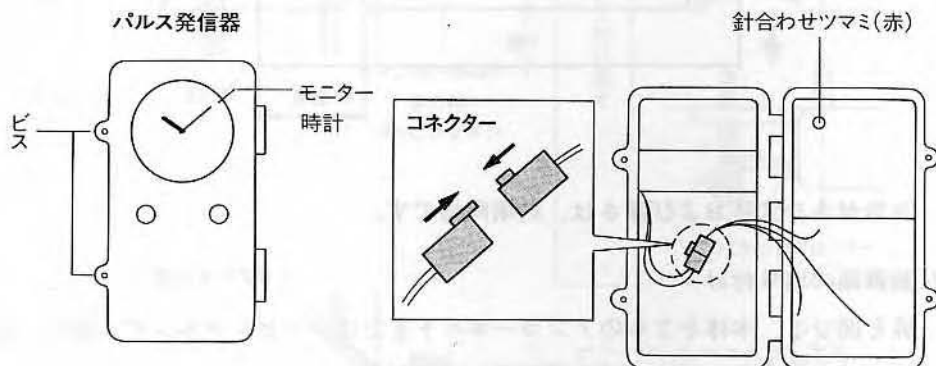
メスコネクターの外周のネジが完全に隠れるまで、最後までしっかりねじ込んでください。



②停電補償用バッテリーの結線

制御箱左上にパルス発信器がありますので、2本のビスをゆるめてふたを開けます。

中にある一対のコネクターを方向を合わせて、しっかりと挿入します。



③時計体パルス発信器の針合わせ（前項の図参照）

パルス発信器正面に付いているモニター時計と時計体とは、同一時刻に針を合わせて出荷していますが、輸送中にずれる可能性があります。この場合は、パルス発信器のモニター時計裏面に付いている、赤色の針合わせツマミを回して、時計体の表示時刻（現在時刻ではありません）に合わせてください。

※時刻合わせは後で行ないますので、ここではモニター時計を時計体の時刻に合わせるだけにしてください。

作業終了後はパルス発信器のふたを閉め、2本のビスでしっかり締めてください。

付属部品一覧	
時計体位置決めシート	1
制御ボックス位置決めシート	1
M8 アンカーボルト	5
6×40タッピングネジ	5
M8 平座金	10
M8 バネ座金	5
M8 ナット	5
めくらぶた	1
バスボンド	1

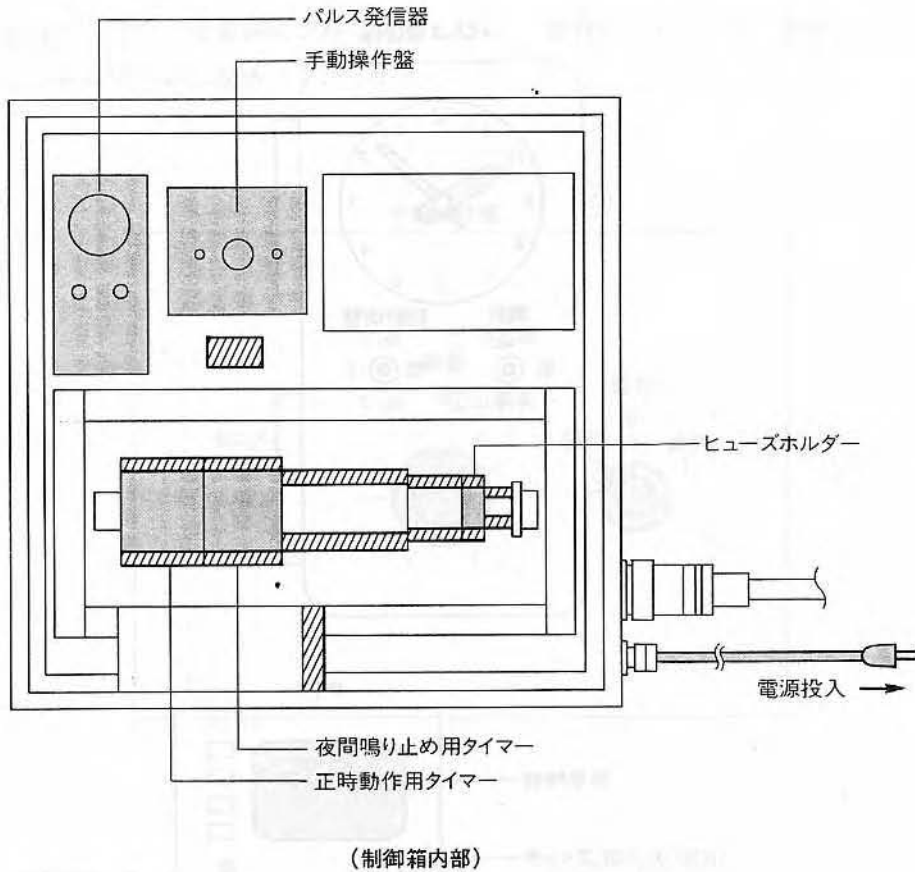
付属書類一覧	
本取扱説明書	1
H5Sデジタルウィークリー タイムスイッチ取扱説明書	1
保証書	1

時計のご使用方法

1. 電源の投入

制御箱右下から出ている電源コードのプラグをコンセントにしっかり差し込みます。

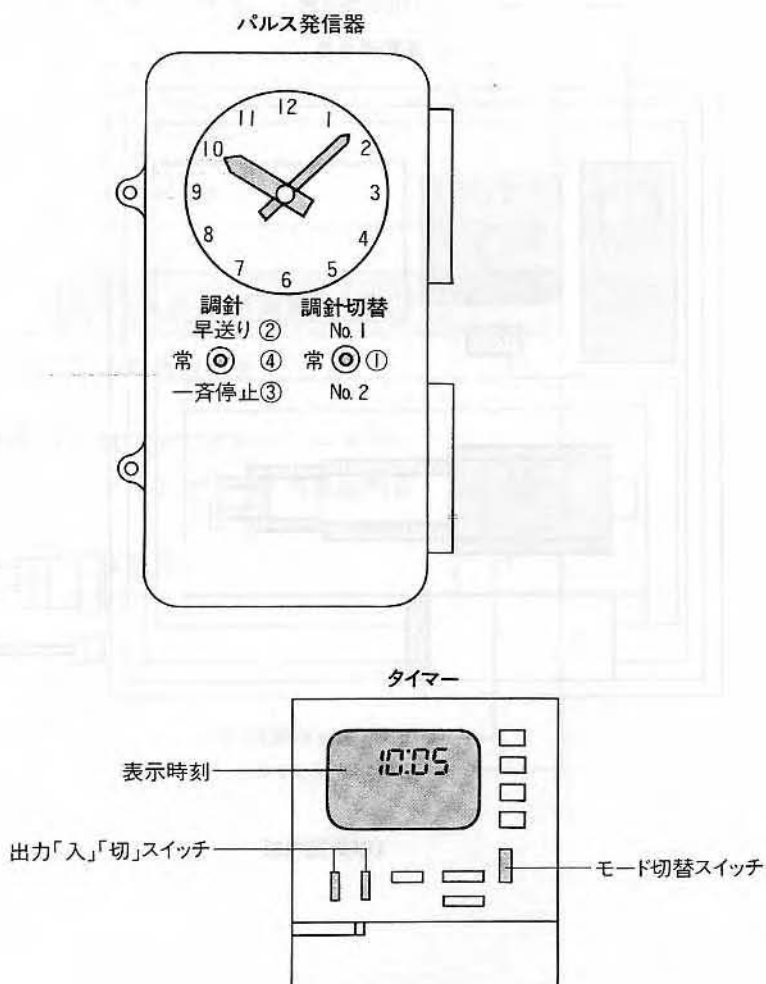
※ご注意：電源投入後は、制御箱内に電気（AC100V）が流れますので、端子結線部（下図斜線部）には、絶対手を触れないでください。



2.時刻合わせ

表示時刻を現在時刻に合わせてください。

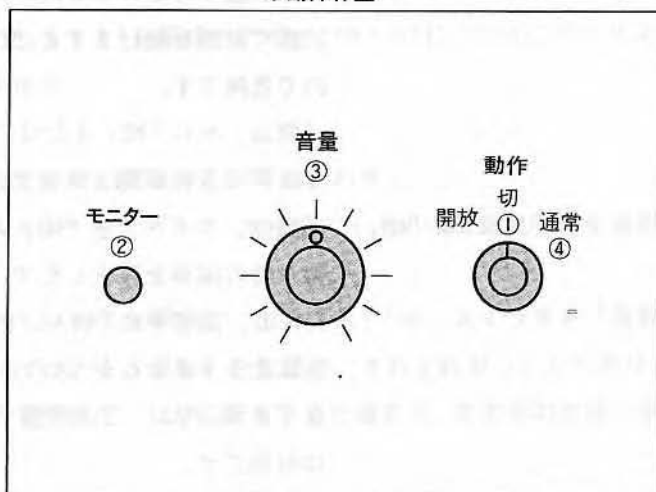
- ①パルス発信器の正面に付いている「調針切替」スイッチを「常」にします。
- ②「調針」スイッチを「早送り」にしますと、通常の30倍のスピードで、時計体とパルス発信器の両方の時計が同期運転します。
- ③現在時刻（※パルス発信器の下に付いているタイマーの表示時刻）より1～2分進めた時刻で、「調針」スイッチを「一斉停止」にします。
- ④タイマーの表示時刻に合わせて、「調針」スイッチを「常」にしますと、時計は正常な運転状態になります。



3. 動作チェック、音量調節

- ①パルス発信器右側の手動操作盤に付いている「動作」スイッチを、「開放」から「切」の位置にします。(この時、文字板が閉まります。)
- ②「モニター」スイッチを押しますと、文字板が開き、左右4体の人形がメロディーに合わせて、楽器を演奏する真似をします。次に、中央の2体の人形が、時刻の数の擬似音に合わせて鐘を打つ真似をし、文字板が閉まります。
※モニターの曲と鐘打回数は、時刻と無関係に作動します。
- ③モニター操作で、メロディーが鳴っている間に、「音量」ツマミを回し、音量を調節します。
- ④動作チェック、音量調節が終了しましたら、「動作」スイッチを「通常」の位置にし、制御箱の扉を閉めてください。

手動操作盤



4. 手動操作盤について

①「モニター」スイッチ 「動作」スイッチが「切」または「通常」の位置になっている時に、「モニター」スイッチを押しますと、正時動作をモニターすることができます。

演奏曲は、電源投入後の最初のモニターでは、12時の曲が鳴り、その後はモニタースイッチを押す毎に、1時の曲、2時の曲…と、順番に演奏しています。

②「音量」 ツマミ

演奏時の音量を連続可変することができます。

③「動作」スイッチ

●「開放」：「動作」スイッチをこの位置にしますと、文字板が開放状態となり、正時になっても演奏しません。また、モニター動作もしません。

※保守等で、時計体の前胴を開ける際は、必ずこのスイッチを「開放」にして、文字板が開いている状態で行なってください。文字板が閉じた状態で前胴を開けますと、文字板が落下しますので危険です。

「開放」から「切」または「通常」に切換えますと、文字板が閉まります。

●「切」：「動作」スイッチを「切」の位置にしますと、毎正時の演奏を停止します。

ただし、演奏中に「切」にセットしても、その曲は止まりませんが、次の正時から演奏しなくなります。なお、この状態でも、モニター動作は有効です。

●「通常」：「動作」スイッチを「通常」の位置にしますと、夜間鳴り止め時間（標準PM11：00～AM7：00）を除く毎正時にカラクリ演奏します。

※ご注意 時計設置後、最初の0：00（AMまたはPM）通過以前は、曲目が時刻と異なったり、数取りを行ないませんが、PM0：00またはAM8：00（標準）から、正常に動き始めます。

5. タイマー動作について

この時計は、タイマー（オムロンH5Sデジタル・ウィークリー・タイムスイッチ）を2個使用しており、制御箱内に取り付けてあります。

正面から左側は正時動作、右側が夜間鳴り止め用で、出荷時に両方の時刻を合わせています。

①正時動作タイマーの設定時間（標準）

回路1：AM1：00～AM11：00、PM1：00～PM11：00の毎正時に、10分パルス
を出力するように設定してあります。（全曜日）

回路2：AM0：00とPM0：00に、10分パルスを出力するように設定してあります。
（全曜日）

②夜間鳴り止めタイマーの設定時間（標準）

回路1：PM10：30～AM7：30まで、日渡りタイマー出力が出るように設定して
あります。（全曜日のPM11：00～AM7：00まで鳴り止め）

回路2：未使用

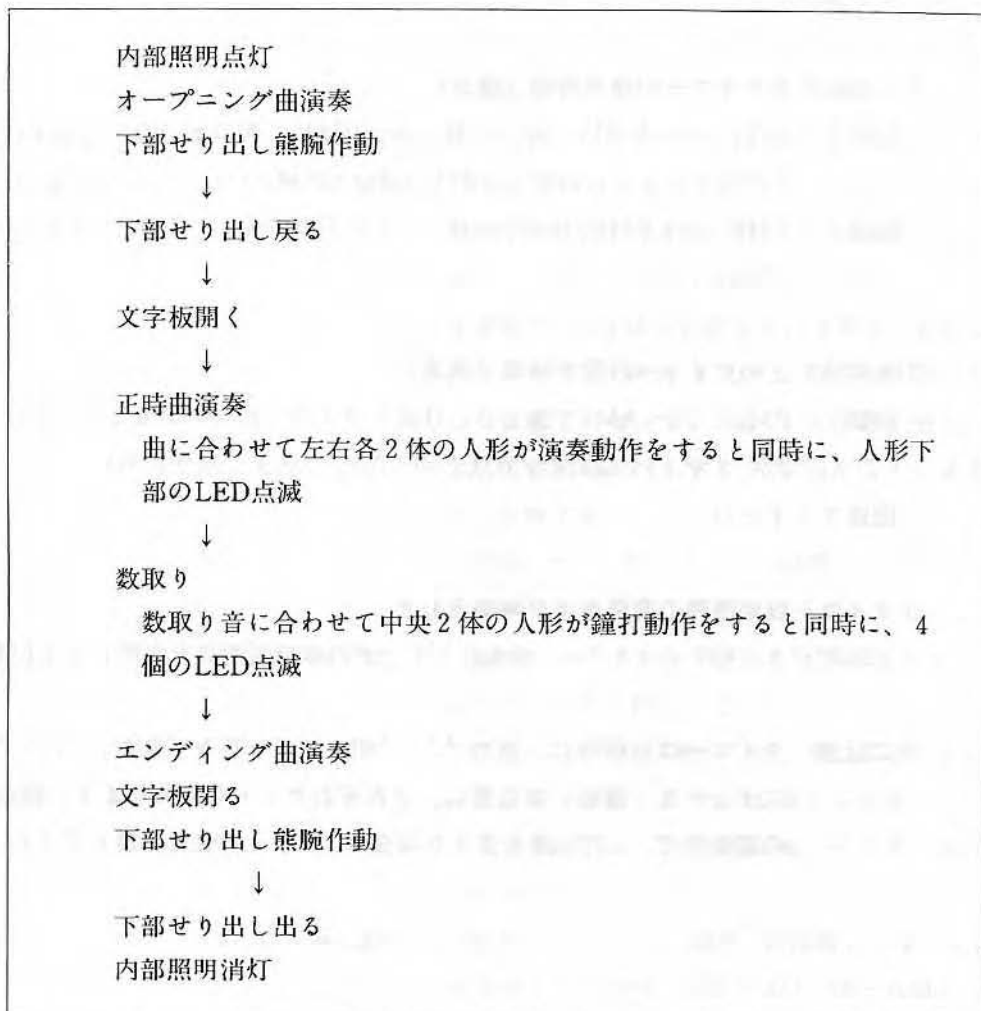
③タイマー設定時間の変更および時刻合わせ

H5Sデジタル・ウィークリー・タイムスイッチの取扱説明書を参照してください。

※ご注意 タイマーは出荷時に、出力「入」「切」スイッチを「自動」、モード切替
スイッチを「運転」の位置に、それぞれセットしてあります。設定時間
の変更等で、この位置を変えた場合は、必ず元の位置に戻してください。

仕 様

1. 通常動作時タイムチャート



2. 正時演奏曲名

1時	静なか湖畔	7時	村のかじや
2時	気のいいがちょう	8時	おお牧場は緑
3時	メリーさんの羊	9時	森へ行きましょう
4時	ホルディリディア	10時	ピクニック
5時	おおブレネリ	11時	ジャックとジル
6時	山の音楽家	12時	アビニョンの橋の上で

故障診断

症 状	調 査 項 目	参照ページ
時計が動かない	電源が入っていますか	P10
正時にカラクリ動作しない	ヒューズが切れていませんか 使用ヒューズ：φ6.4×30mm ガラス管ヒューズ AC125V5A 切れるとヒューズ内のランプが点灯します。	P10
	停電中ではありませんか	—
	時計体と制御箱の接続コネクタがゆるんでいませんか	P7
時計が動かない	パルス発信器の「調針」・「調針切替」スイッチが両方とも「常」の位置になっていませんか	P11
正時にカラクリ動作しない	運搬用固定ゴム板を除去してありますか	P3
	手動操作盤の「動作」スイッチが「通常」の位置になっていませんか	P12、13
	「モニター」スイッチで動作しますか	P12、13
	タイマー表示時刻と時計体表示時刻が一致していますか	P8、11
	鳴り止め設定時間中ではありませんか	P14
	タイマーの出力「入」「切」スイッチが「自動」、モード切替スイッチが「運転」位置になっていませんか	P11、14
時計体内部照明が点灯しない	電球がゆるんでいませんか 電球が切れていませんか 使用電球：ミニレフ電球(ナショナル) LR110V 50W・S・K ※前胴を開ける際は、必ず動作スイッチを「開」にし、文字板が開いた状態で行ってください。	P3、13
演奏音が出ない	手動操作盤の音量スイッチが「0」になっていませんか。	P12、13

定 格 性 能

時 間 精 度	・ 週差±0.7秒以内
精度保証温度範囲	0℃～40℃
使用温度範囲	-10℃～+50℃
電 源	AC100V、50/60Hz
消 費 電 力	カラクリ演奏時150W 通常時30W
カラクリ演奏時刻	夜間鳴り止め時間を除く毎正時
夜間鳴り止め時間	PM11:00～AM7:00 (標準)
演奏・鳴り止め方法	タイマー
時計体停電補償時間	30時間
タイマー停電補償期間	5年間
カラクリ演奏曲数	12曲自動切替
時 計 体 寸 法	φ700×170mm
時 計 体 重 量	約26kg (接続コード重量6kg含む)
制 御 箱 寸 法	560×560×170mm
制 御 箱 重 量	約18kg
電 源 コ ー ド 長	2.5m
時計体・制御箱接続コード長	10m (標準)

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスはお買いあげ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みのうえご利用ください。

1. 修理部品の保有について

この時計の修理用性能部品（電子回路、歯車など）は通常7年間を基準に保有しています。ただし外装部品（ケース、文字板、針など）の修理には類似の代替品を使用することもありますのでご了承ください。

2. 修理可能期間について

通常のご使用状態であれば、無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料修理が可能です。ただし修理可能期間は、ご使用の状態や環境条件によって、左右されることがありますので、修理をご依頼なさる場合には販売店とよくご相談ください。

3. 転居または贈答品の場合

転居または遠隔地からの贈答品で、お買いあげ店のサービスご利用が不便な場合には、もよりのリズム時計支店（本説明書記載）に電話などで、ご相談ください。（その際も販売店の保証書が必要です）

■お手入れについて

- 枠などの汚れ落としに、シンナー・ベンジン・スプレー式クリーナー類は使用しないでください。油汚れなどは、石けん水、または中性洗剤をやわらかい布に浸してよくしぼってからふき、そのあと乾いた布でふきとるときれいになります。